

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年4月7日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 3
校長 田中 成年

<子ども真ん中教育>

～豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成～

本日、令和7年度の着任式・始業式を行いました。2週間ほどの春休みを終え、子供たちは気持ちを新たに畝刈小学校の門をくぐりました。それぞれ進級し新たな気持ちでこの日を迎えたのではないかと思います。今日も笑顔で背中を押し、送り出していただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、先日ホームページでもお伝えをしましたとおり、令和7年度は「**子ども真ん中**」を学校教育目標として掲げ、スタートいたしました。昨年度から学校だより他、あらゆる場面でお伝えをしてきた言葉です。「**子供が主語・子供が主役**」の**学校づくり**を、今年度も行ってまいります。その中で「**豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成**」という育成したい「めざす子供像」もあげております。

「子供たちが優しい気持ちで**思いやり**を持ち、自分も周りの人たちも**大切にする心**をもつこと」「自分で良いかよくないかを**考え判断**したり、**自分の将来の夢**に向かって自分が今、何をしなければいけないのかを**自ら考え、自ら動く**ことができるようにしたりすること」など、今、子供たちに必要だと思われる力の育成をめざしております。

子供たちがさまざまな教育活動を通して、必要な力を身に付けていくことができるようにしっかりと支えていきたいと思っております。

さらには、「**みんなの学校**」という言葉も、今回あげております。

- 地域の方々にとって、誇りとなる学校
- 保護者の方々にとって、子供たちを通わせたい学校
- 子供たちが笑顔で楽しく通うことができる学校
- 先生方が働きがいのある学校

すべての人が、畝刈小学校を自分の学校だと誇りに思い、自慢できる学校にしていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

畝刈小学校は「**子ども真ん中の学校**」